

授業科目等の概要

(ファッション工科専門課程 ファッション工科基礎科) 2020年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			服装造形論 I A	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服全般の基礎知識を習得する。(縫合の基礎、作図基礎理論、体型観察) ・服作りの基礎となる服の構造、デザイン表現、作図方法、素材の扱い方、縫製方法を各アイテムにおいて習得する。 ・バザー作品を通し、ボランティア精神の育成と既製服としてのデザイン、縫製法、検品、販売までの流れを学習する。 	1・通年	120	4	○			○			○	
○			服装造形デザイン I A	<ul style="list-style-type: none"> ・ドレーピングの基礎知識を習得する。(ボディについて、布の準備、基礎ドレーピング・マーキング・ドラフティング) 1 基礎I (一般知識・縫い方の基礎) 基礎縫いAミシン縫い・B手縫い 2 体型研究 身頃原型・スカート原型(1/4・実物作図)・トワル製作・試着補正・レポート 3 スカートI デザイン・パターン・実物製作・レポート 4 シャツブラウスI デザイン・パターン・実物製作・レポート 6 子供服 デザイン・パターン・実物製作・レポート 7 バザー作品 文化祭バザー作品実物製作・検品・販売 8 スカートII デザイン・パターン・実物製作・レポート 9 ジャケットI デザイン・パターン・実物製作・レポート 10 ワンピースドレスI デザイン・パターン・実物製作・レポート 11 パンツI デザイン・パターン・実物製作・レポート 12 ドレーピング基礎(文化ボディ) 胸ぐせダーツのバリエーション(アームホールダーツ) 	1・前期	120	4			○	○			○	
○			服装造形パターン マーキング I A	<ul style="list-style-type: none"> 6 子供服 デザイン・パターン・実物製作・レポート 7 バザー作品 文化祭バザー作品実物製作・検品・販売 8 スカートII デザイン・パターン・実物製作・レポート 9 ジャケットI デザイン・パターン・実物製作・レポート 10 ワンピースドレスI デザイン・パターン・実物製作・レポート 11 パンツI デザイン・パターン・実物製作・レポート 12 ドレーピング基礎(文化ボディ) 胸ぐせダーツのバリエーション(アームホールダーツ) 	1・前期	120	4			○	○			○	
○			服装造形ソーイング I A	<ul style="list-style-type: none"> 10 ワンピースドレスI デザイン・パターン・実物製作・レポート 11 パンツI デザイン・パターン・実物製作・レポート 12 ドレーピング基礎(文化ボディ) 胸ぐせダーツのバリエーション(アームホールダーツ) 	1・前期	210	7			○	○			○	

○			<p>量産技術概論・実習</p> <p>アパレル製品の生産について関心を持たせ、一品作りと量産の違いについて認識させること目標とする。 実習として工業用ミシン・アイロンを主とした生産機器の安全な使用方法を習得する。 後期には生産指示書類の見方に関する講義や特殊機器見学を行い工業生産に関する理解を深める。</p>	1・通年	30	1	○		△	○				○
---	--	--	--	------	----	---	---	--	---	---	--	--	--	---

授業科目等の概要

(ファッション工科専門課程 ファッション工科基礎科) 2020年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			自由研究 I A	・服装造形の全ての細目において、各自興味を持ったテーマについて研究する。 ・各自の目標に合わせ既習細目におけるレベルの向上をはかる。	1・前期	30	1			○	○			○	
○			自由研究 I B	・個々の能力に合わせて知識・技術を応用発展させ、各自の専門性を追及する。 ・発表会(展示会)を行うことにより、プレゼンテーション能力を養う。	1・後期	30	1			○	○			○	
○			ファッションビジネス概論	・ファッションビジネスの基礎知識の理解 ・ファッション産業構造の把握と専門業務の把握による職種選択のための対応	1・後期	30	1	○			○			○	
○			ファッションデザイン画 I	衣服と身体との関連性を理解し、構造を交えながら絵として表現する技術を学習する。マーカーを使用した彩色表現を中心として、多様なアパレル素材の彩色方法を習得する。	1・通年	60	2			○	○			○	
○			クロッキー	様々なものの見方を通じ、ものを見て描く事・表現につながる描写と楽しさを再認識する事と合わせ、個性を伸ばす為の観察力・デザインイメージを見る側に伝える基本描写能力・表現能力の習得を目的とする。	1・通年	30	1			○	○			○	
○			西洋服装史	古代から近世18世紀までは、その時代背景を踏まえ美術史や映画によって服飾の特長を解説していく。19世紀近代以降は、パリオートクチュール・ビジネスが確立し、ファッションが産業化していく過程を見ていく。20世紀以降はデザイナーの時代であり、デザイン史、音楽史、映画史などにも触れながら、多方面からのアプローチによって理解を深める。	1・通年	60	2	○			○			○	
○			服飾デザイン論 I	服飾デザインにおける色彩、形態、コンポジションについての講義及び演習を通して基礎的な知識と技術を身につけ、創造力、分析力を養うことを目標とする。 レベル設定:色彩の基礎知識や配色の基礎、形態の構成要素やデザイン展開、コンポジションのセオリーについて理解し、それぞれのテーマに沿ったビジュアル表現ができる力を有する。	1・通年	60	2	○			○			○	

授業科目等の概要

(ファッション工科専門課程 ファッション工科基礎科) 2020年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			アパレル素材論Ⅰ	アパレル製品や各自製作物の素材に関心を持たせることを目標とし、アパレル(衣服)の構成要素である繊維、糸、布地の種類や特徴についての基礎的知識を習得させる。さらに代表的な綿、毛、絹織物の種類に関して、教材(テキスタイルファブリック)を活用しながら、糸の構造や織物組織などの特徴に着目させ、理解を図る。	1・通年	60	2	○			○		○		
○			服飾手芸Ⅰ	服飾手芸全般における基礎知識を学び、それぞれの技術を基にして服飾造形及び服飾小物などに応用発展できるようにする。また、素材・テクニック・造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。	1・前期	30	1			○	○			○	
○			服装解剖学Ⅰ	解剖学的な人体の構造を衣服パターンと関連づけながら理解させ、美的で機能的な衣服製作に必要な人体(骨格)に関する基礎知識を学習させる。次に人体を外観から観察し、形態やプロポーションを認識させる。	1・後期	30	1	○		△	○			○	
		○	英会話(自由選択)	日常生活の中、またファッションに関する事例からトピックを選び、それに関連した英語表現を学ぶ。文法事項の復習と補充、ロール・プレイを通じた会話練習、聞き取り、英作文などを組み込んだ構成とする。	1・後期	30	1	○			○			○	
○			キャリア開発Ⅰ	『将来を考える』という基本テーマを通して、自身の今後のキャリアを考え今後学ばべきことを考えるとともに、「聴く・話す・書く力(読む)」を養うことを目的とする。 ・各自の適性を把握し、進路について考え将来の方向性を決める。	1・通年	30	1	○			○			○	

授業科目等の概要

(ファッション工科専門課程 ファッション工科基礎科) 2020年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			特別講義 I	・ファッション業界の各分野において幅広い知識・技術を修得すると共に、各自の専門性を考える動機付けを目標とする。 ・レギュラー授業で包括できない部分の専門関連分野の知識を習得する。	1・通年	30	1	○			○			○	
○			校外研修 I	美術館見学等を通して、ファッション情報に関する見聞を広げる。 諸活動を通してコミュニケーション能力の向上を目指す。	1・前期	30	1			○		○			○
		○	コラボレーションa	・1年次では、産業とのかかわりを持つことにより、企業とその実務を知るきっかけをつくり、課外活動(コンテスト活動など)への積極的参加を推進することを目標とする。 ・個々の能力に合わせて各自の専門性を追及する。	1・後期	30	1			○	○				○
合計						18科目									1,110単位時間(37単位)

卒業要件及び履修方法

授業期間等

単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること

1学年の学期区分	前・後期
1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(ファッション工科専門課程 インダストリアルマーチャンダイジング科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			アパレル造形論Ⅰ	商品としての服作りを意識し、シーズンごとのコンセプトやターゲットをもとに作品を制作する。人体の構造や運動機能を視野に入れ平面裁断、立体裁断のテクニックを習得し、デザイン発想力と表現力を養う。 1、シーズン表現Ⅰ 一重仕立てのアウトターとボトムをコーディネートで制作 作図理論解説(3種)、作品テーマの設定、コンセプトマップ作製、デザイン発想指導、パターン作製指導、縫製指導、部分縫い指導(2種)、レポート作成	2・通年	60	2	○			○		○		
○			アパレル造形演習 デザインⅠ	2、立体裁断Ⅰ タイトスカート、セミフレアスカート。フレアスカート、ショルダーダーツ、ウエストダーツ、胸ぐせのバリエーション 3、シーズン表現Ⅱ ウールを使用したアウトターとボトムをコーディネートで制作 作図理論解説(3種)、作品テーマの設定、コンセプトマップ作製、デザイン発想指導、パターン作製指導、縫製指導、部分縫い指導(2種)、レポート作成	2・通年	120	4				○			○	
○			アパレル造形演習 ドレーピングⅠ	4、立体裁断Ⅱ シャツカラーのブラウス、スタンドカラー、フラットカラー 5、シーズン表現Ⅲ (修了制作) 作図理論解説(2種)、作品テーマの設定、コンセプトマップ作製、デザイン発想指導、パターン作製指導、縫製指導、部分縫い指導(2種)、レポート作成	2・通年	60	2				○			○	
○			アパレル造形演習 実技Ⅰ	ファッションマーチャンダイジング(基礎)を理解し、デザイン発想力の育成・感性を具体的に表現する能力を育成する。	2・通年	60	2	○			○			○	
○			生産管理概論	アパレル産業の生産プロセスを、縫製工場とアパレルメーカーの双方から捉え、工業生産についての理解を深めることを目標とする。また、縫製仕様書や加工・裁断・芯貼り指図書や工程分析表などの作成を通して、生産情報の伝達・管理手法や量産的な考え方を学習し、基礎レベルの習得を目指す。	2・前期	30	1	○			○			○	

授業科目等の概要

(ファッション工科専門課程 インダストリアルマーチャンダイジング科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			自由研究Ⅱa	各課題にコンセプト設定をし、マップ作成をおこなう。 制作後プレゼンテーション形式で発表できるようにまとめる。 アパレル造形の作品発表に効果的なコーディネートに必要なものを制作する。	2・通年	30	1			○	○		○		
○			自由研究Ⅱb	修了制作ショーにおいて各パートの活動運営に参加する。	2・通年	30	1			○	○		○		
○			ファッションマーケティングⅠ	アパレル業界におけるマーケティング業務の実務を講義と実習により指導し、ファッションマーケティングの基礎知識を習得させる「実学」を目指す。	2・通年	60	2	○			○		○		○
○			ビジュアルマーチャンダイジングⅠ	・授業概要：VMDの基礎知識と基礎技術を座学及び演習にて学ぶ ・到達目標：VMDの知識と技術を実践にて使えるようにする	2・通年	60	1	○			○		○		
○			色彩計画Ⅰ	1年次『服飾デザイン論』で習得した色彩の基礎を発展的に学習する。 配色やイメージ表現などの基本的な色彩スキルをトレーニングしたのち、コンセプト策定からプレゼンテーションまでの色彩計画の考え方を演習を通して学習する。	2・通年	60	2			○	○		○		
○			ファッションデザイン画Ⅱ	各種の画材を使ったテクニックを指導し、作画における表現力を持たせます。 オリジナリティーを重視したデザインと、想像力の追求をします。	2・通年	60	2			○	○		○		
○			アパレル素材論Ⅱ	アパレル素材論Ⅰで学んだ基礎知識をもとに、講義・演習を通し、素材特性を最大限に引き出したより完成度の高いアパレル製品、パターンをつくる力や知識を身につける事を目標とする。	2・前期	30	1	○			○		○		

授業科目等の概要

(ファッション工科専門課程 インダストリアルマーチャンダイジング科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			アパレル品質論	テキスタイルやアパレルの企画、製造、販売における品質管理に関する知識を習得し、「関連する法律を理解し遵守する」「お客様の要求品質を満たす」ための活動ができることを目標とする。 講義と演習により理解を深める。	2・後期	30	1	○			○	○			
○			コーディネート論	ファッションコーディネートに必要な基本知識と様々なコーディネートテクニックを習得することを目標とし、時代への適応力、客観的に捉えたファッションコーディネートの提案能力を養う。	2・後期	30	1	○			○	○			
○			デザイン文化	複雑な成立過程を孕むようになった近代の西洋美術から現代のアート動向までを解説。単純に美術作品を紹介するのではなく、なぜそれらの傑作が生まれたのか、芸術家がどういう意図で作品制作を行い成功したのかを考察することで、ヘアメイクやモデルに必要なセルフプロデュースの方法論を探ることにつなげる。	2・通年	60	2	○			○	○			
○			英会話 I	英語の基礎文法の復習に加え、簡単なコミュニケーションをとる事を最終目標とする。グループ、ペア・ワークを中心に会話練習を通し英語に親しみ、またファッション関連の語彙なども導入する。初級は文法の確認を中心に行い、中級は自分のことについて口頭で表現できるよう指導する。	2・前期	30	1	○			○		○		
○			グラフィックワーク I	グラフィック系ソフトの基本操作をしっかりと習得させる。3年次以降につなげる。ファイル操作等、データ扱いの基礎知識が身についているかも確認しながら、他学科の課題製作等にも活用できる、グラフィック系ソフトの基本操作を徹底して身につけさせる。	2・通年	60	2			○	○		○		

授業科目等の概要

(ファッション工科専門課程 インダストリアルマーチャダイジング科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			キャリア開発Ⅱ	志望する就職先に内定するために必要な「総合的就職力」を養う。 ・企業職種研究を通して、仕事の面白さを考え、希望する企業や職種がイメージできるようになる ・面接練習などを通してプレゼンテーション能力が高まる ・筆記試験 育成プロセスとして、単なるやり方を伝えるだけでなく、意識させ、繰り返してできるようになるまで行う。	2・後期	30	1			○	○		○		
○			特別講義ⅡA	アパレル産業の現状を主に卒業生から企業目線や実体験のアドバイス、さらに科の特色に沿った知識として講義、実習をうける。	2・前期	30	1	○			○		○		
○			特別講義ⅡB		2・後期	30	1	○			○		○		
○			校外研修Ⅱ	日本の伝統文化に触れる機会を持ち、感性を高める。 また、アパレル企業や工場を見学し、新しい技術や長年培われた地場産業の技術を学ぶ。	2・後期	30	1			○	○	○			
	○		企業・学内研修 a	アパレル業界の現場・現状を把握させるためにアパレル企業で実際に研修を受けることで学校教育では体験出来ない実学を学ぶ。 また、企業研修に参加しない学生は学内研修を受講し、日常で学べない知識を得る。	2・後期	30	1			○	○	○			
	○		企業・学内研修 b		2・後期	30	1			○	○	○			
		○	コラボレーション b	科の特色の科目や特別講義で習得した知識を活用し、外部講師、企業とのコラボレーション活動をグループで参加する。	2・通年	30	1			○	○		○		
学科合計			24科目		1200単位時間(40単位)										

授業科目等の概要

(ファッション工科専門課程 インダストリアルマーチャンダイジング科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			アパレル造形論Ⅱ	各自コンセプトに基づいたクリエイション性の高いデザインの表現力を向上させる。 1、プライベートブランドⅠ（春夏アイテム 一重ジャケットとボトム）エディ・パウアー・ジャパン社とのコラボレーション デザイン・パターン・実物製作・プレゼンテーション	3・通年	60	2	○			○		○		
○			アパレル造形演習 デザインⅡ	2、プライベートブランドⅡ（秋冬アイテム） デザイン・パターン・実物製作・プレゼンテーション 4、立体的裁断 3面構成のジャケット 4面構成のジャケット ラグランスリーブコート ※文化ヌードボディ使用	3・通年	120	4		○		○		○		
○			アパレル造形演習 実技Ⅱ	4、プライベートブランドⅢ（春夏アイテム卒業制作作品） デザイン・パターン・実物作品・プレゼンテーション	3・通年	180	6			○	○		○		
○			マーチャンダイジング論Ⅱ	時代の変化に柔軟に対応できるマーチャンダイザーの育成。	3・通年	60	2	○			○		○		
○			マーチャンダイジング演習 企画	卒業制作・発表へ向けてのサポートと具体的なビジネスプランの制作。 就職してからも役立つマーチャンダイジング知識を身に着ける。	3・通年	90	3		○		○		○		

授業科目等の概要

(ファッション工科専門課程 インダストリアルマーチャダイジング科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			生産企画	アパレル製品を生産する上で必要となる業務について、メーカーにおける生産関連担当者の職域を中心に学ぶ。 商品企画段階で設定される、品質(Q)・原価(C)・納期(D)を高水準で成立させることを目標に、生産実務に至る準備段階から事後処理までを体系的に理解する。グローバル化に伴う海外生産の拡大も視野に入れ、今後のアパレル生産の行方を考慮の上、各自でアパレル製品の生産企画を立案する。	3・通年	60	2	○			○		○		
○			アパレル造形演習 カット &ソー	丸編みカットソーの縫製的知識とミシン縫製取得。 美しいシルエットの立体裁断基礎知識とパターンと縫製の商品仕上げ指導。	3・通年	60	2		○		○		○		○
○			テキスタイル造形演習	前期：「手織り」を通じて、布帛の構造や特徴を理解することで、アパレルデザインにおけるテキスタイルの可能性を学ぶ。 後期：テキスタイルデザインにおける先染め、後染め、染色仕上げ加工の技法の理解と習得。	3・通年	60	2		○		○		○		
○			ファッションマーケティングⅡ	アパレル業界におけるマーケティング業務の実務を講義と実習により指導し、ファッションマーケティングの基礎知識を習得させる「実学」を目指す。	3・通年	60	2	○		○	○		○		○
○			ビジュアルマーチャダイジング	・授業概要：VMD基礎（VMD基礎知識/座学、VMD基礎知識に基づく演習・実習・プラン及び実践・応用） ・到達目標：VMDの基礎知識（プラン～実践）の習得を目指す ・レベル設定：Lv1. VMD基礎知識を習得 Lv2. 基本的な実践（陳列・演出）が出来るレベル Lv3. VMD基礎知識に基づきプラン～実践（陳列・演出）の応用が出来るレベル	3・通年	60	2	△		○	○		○		○

授業科目等の概要

(ファッション工科専門課程 インダストリアルマーチャンダイジング科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			セールスワーク	・販売員の重要性、必要性を理解する ・接客販売の流れとそのポイントを理解する ・販売としての基本的な立ち居振る舞い、また接客の楽しさ、難しさをロールプレイングを通して学ぶ	3・後期	30	1	△		○	○		○		
○			インターネットビジネス	インターネットをはじめとした先端テクノロジーがファッション業界に与える影響を理解し、ネットとリアルの特徴を生かしたビジネスの企画立案ができるようになることを目標とする。	3・通年	60	2			○	○		○		
○			グラフィックワークⅡ	ファッション産業におけるグラフィックの役割と有効性を理解し、ファッション表現のツールとしてパーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身に着けると同時に、各自の企画デザイン力及びプレゼンテーション能力の習得、向上を目標とする。ブランド企画に基づいた、ロゴ及びブランディングツール製作を通してグラフィックによるファッションブランディングの意識を養う。	3・通年	60	2	○			○		○		
○			特別講義ⅢA	レギュラー授業には含まれない関連分野の専門知識を習得する。	3・前期	30	1	○			○		○		
○			特別講義ⅢB		3・後期	30	1	○			○		○		
		○	コラボレーションc	各自コンセプトに基づいたクリエイション性の高いデザインの表現力を向上させる。 企業とのコラボレーションにより自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。人と人との様々な繋がりや調和が必要となるため柔軟な人間力、コミュニケーション能力を身につける。	3・通年	30	1			○	○		○		

授業科目等の概要

(ファッション工科専門課程 インダストリアルマーチャンダイジング科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			卒業研究・創作	・マーチャンダイジング計画（ブランド設定からプレゼンテーションまで） ・ブランドのパイロット商品の開発（デザイン開発及び製品製作）	3・後期	120	4			○	○		○		
学科合計				16科目	1140単位時間(38単位)										
総合計				58科目	3450単位時間(115単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること	1学年の学期区分	前・後期
	1学期の授業期間	15週